

馬詰研究奨励賞海外研修等実施報告書

令和 6 年 7 月 17 日

工 学 研 究 科 長 殿

所 属： 建築学 専攻
課 程： 博士後期課程 3 回生
氏 名： 芦田陽介

研修の目的	報告者は、鉄骨造建物を対象に、柱と梁の接合部の一部である接合部パネルの研究に取り組んでいる。本研修の目的は、地震時の鉄骨造建物のモデル化に関する研究で世界的に著名な Lignos 教授と、大地震時における接合部パネルのモデル化方法について意見交換を行い、より適用範囲の広いモデル提案に繋がる知見を得ることである。		
研修の期間	2024/4/14 から 2024/6/30 まで		
研修の実施先	日程	滞在地	研修実施機関名等（指導教員名）
	2024/4/14 ～ 2024/6/30	スイス	スイス連邦工科大学ローザンヌ校 受入教員: Dimitrios Lignos 教授
研修の概要	これまでに実施した接合部パネルの実験や有限要素法解析の結果について、Lignos 教授と 2 週間に 1 度程度のペースで議論した。以上に加え、受入先研究室で今後実施する予定の実験の計画に参加したほか、多数開催されていた著名な研究者のセミナーに参加した。		
研修の成果等	これまでに実施した接合部パネルの実験結果や解析結果を異なる視点から考察することができ、接合部パネルのより精緻なモデル化につながる可能性のある知見を得られた。また、セミナーや研究打合せで明らかになった、日本と国外での研究動向や手法の違いから、改めて自身の研究テーマについて学習することができた。本研修の成果は、査読付き論文 1 本として然るべき論文誌へ投稿する予定である。		
そ の 他 ※本海外研修経験による将来の抱負等	今回の滞在で得た友人たちと今後も積極的に議論を交わし、自身の専門について多面的な視点を持った研究者を目指したい。また、滞在中に Lignos 教授から博士研究員のポストをご提案いただいた。Lignos 教授のご提案は望外の幸運であり、今回の研修なしではこのような選択肢はありえない。貴重な機会をご提供いただいた故 馬詰彰さまとそのご遺族、および工学研究科に心から感謝申し上げる。		